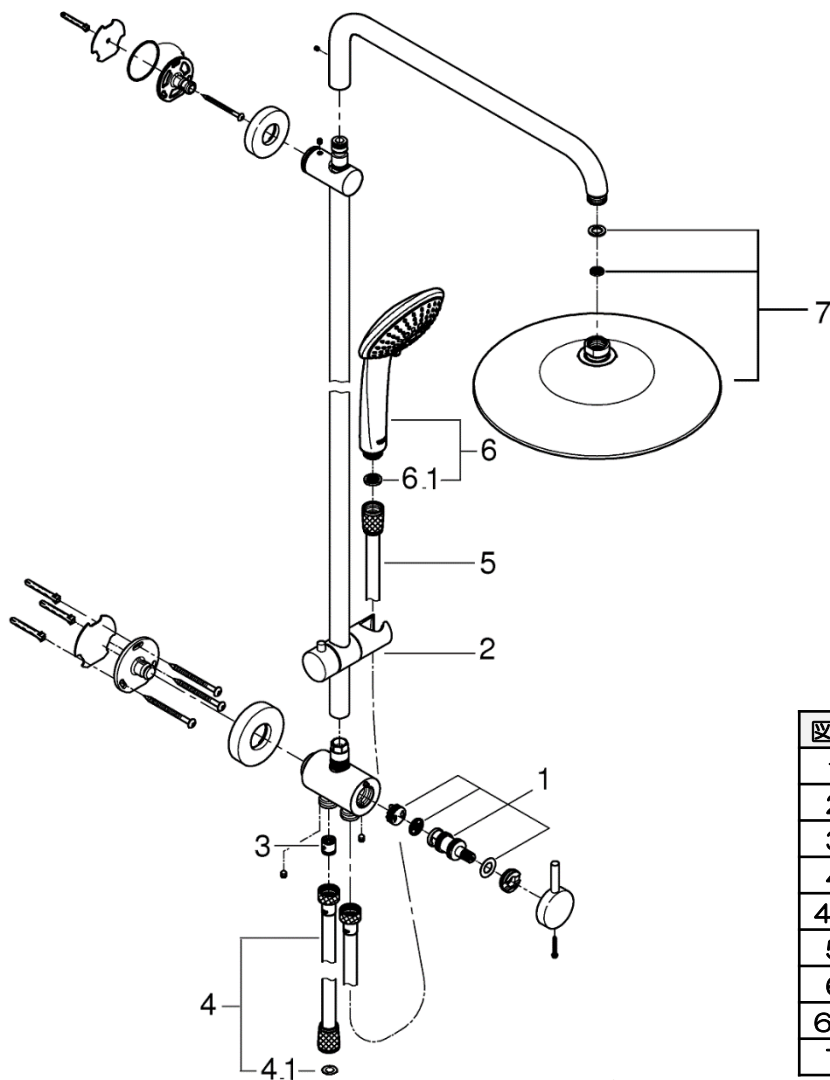


Euphoria System 260 据付説明書 (お客様にお渡しください)

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工完了後は、この説明書を同梱の取扱説明書とあわせてお客様にお渡しください。



図番	名称
1	切換弁
2	スライドフック
3	逆止弁
4	接続ホース
4.1	ホースパッキン
5	シャワーホース
6	ハンドシャワー
6.1	ストレーナー
7	ヘッドシャワー

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠️ 注意

固定の際は、強度の高い壁面（補強の裏板等）にしっかりと取付けてください。

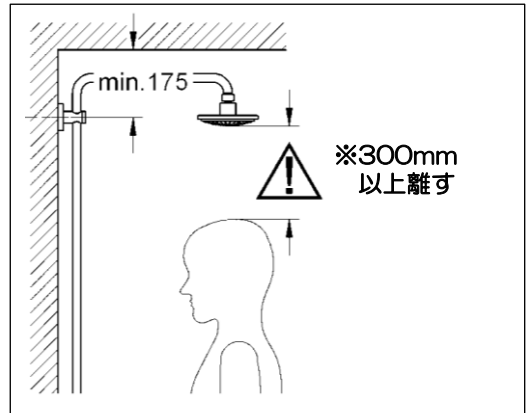
※器具が落下し、思わぬけがをするおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部分および器具から、水漏れの無いことを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

- 使用水压は、流動圧で0.1Mpa〔1.0kgf/Cm²〕～0.74Mpa〔7.5kgf/Cm²〕の範囲とします。
- 使用条件を加味して適正な水栓金具を選ばないと適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります
- 使用場所を加味して適正な位置を選ばないと適正な散水状態が得られないことがあります。
- ヘッドシャワーの極端な角度調整はしないでください。
接続ねじがゆるみ、落下等の事故が起こるおそれがあります。
- ヘッドシャワー取付位置の目安は身長より約300mm上で、取り付けの際に天井と干渉しないよう175mm以上離します。
- 極端に狭い状況でのご使用はおやめください。



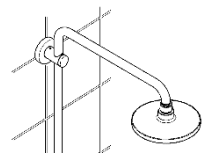
据付前の注意

- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
- 給水は上水道に接続してください。
※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
- 壁面は商品重量に耐えることを確認のうえ、動かないように確実に固定してください。
- 商品は重量がありますので、商品の落下によるケガにご注意してください。
- 高所での作業は、足場のしっかりした状態で、転落等が発生しないよう考慮してください。
- ユニットバスに使用する場合、壁面の材質を考慮した取付ビスをご用意してください。

ケガや転落等に注意

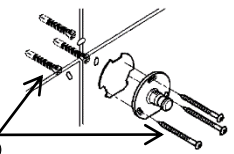


壁の破損に注意



取付けビスの注意

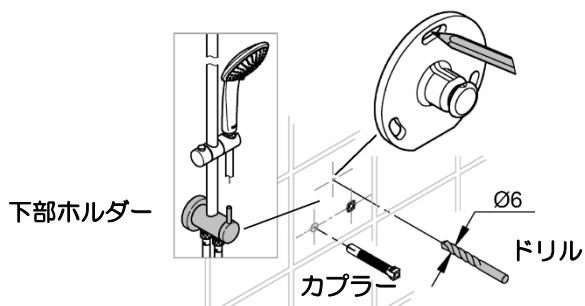
ユニットバス用に変更
(別途お買い求めください)



据付け手順

1. 下部カプラーの取付け

1. 下部ホルダー用固定金具の取付位置にドリル等でφ6mmの穴を3つあけ、カプラーをしっかりと差込みます。



ポイント

- ※取付け位置は下部ホルダーの位置が身長より約71cm下が目安です。
- ※天井より119cm以上の間隔をあけてください。

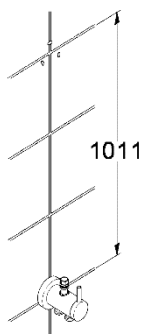
注意

- ※ユニットバス等コンクリートを使用していない場所では穴明けの必要はありません。
- ※ご使用環境に適したカプラーを選定・ご使用ください。
- ※付属のカプラーによってはφ8mmの場合もあります。

2. 上部カプラーの取付け

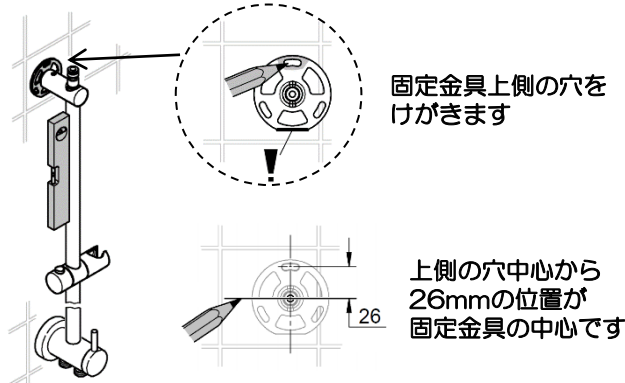
注意

- (ユニットバスの場合は補強の裏板を準備し、その位置に取付けてください)
※規定の寸法を厳守してください。バーを切ったり、伸ばすことはできません。
※寸法図を参考にしてけがいた場合も、一度金具を壁に押しつけ、アームを差し込んで取り付くか確認してください。
※取付け位置の目安は上部ホルダーの位置が身長より約30cm上で、取り付けの際に天井と干渉しないよう18cm以上離します。
※下部ホルダー中心と上部ホルダー中心の距離は約1011mmですが、製造誤差が生じるため、本手順での取付位置確認をしていただくことをお勧めします。



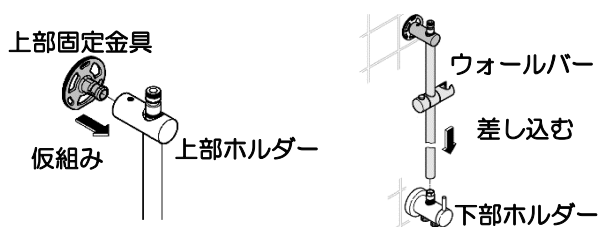
2. 【取付位置確認】

- 取付け位置に上部ホルダーをあてて、固定金具の上側穴位置を鉛筆等でケガきます。
※この位置から26mm真下の位置が、上部固定金具中心の取付け穴になります。



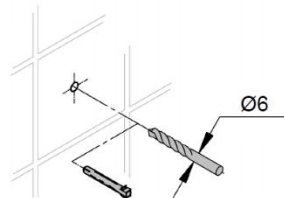
1. 【取付位置確認の準備】

- 上部固定金具を上部ホルダーに取付け、下部ホルダーにウォールバーを差し込みます。



2. 【穴あけおよびカプラー取付け】

- 取付け位置にドリル等でφ6mmの穴をあけ、カプラーをしっかりと差込みます。



据付け手順

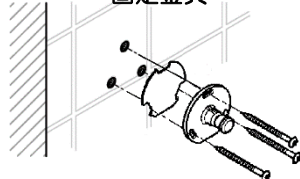
3. 固定金具の取付け

1. パッキンを取付けた固定金具を、それぞれの取付位置に取付けビスで固定します。

上部ホルダー用
固定金具



下部ホルダー用
固定金具



注意

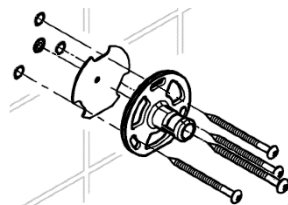
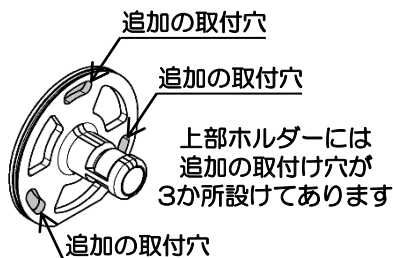
※固定金具には上下があります。
キリカキを下に向けて使用してください
※取付けビスは同等品であれば、付属の取付け
ビス以外でも使用可能です。
※ユニットバスの場合は、補強の裏板をご使用して
ください。

【壁の仕様により強度が不足する場合】
十分な強度を保てるよう現場でご判断のうえ、
取付けビスを追加してください。

※上部ホルダーの外側の三か所の長穴を取付け穴と
してご利用ください。

※追加の取付けビスは、市販のビスをご用意ください。
※取付け穴位置は取付け位置に上部ホルダーをあて
てケガき、位置決めしてください。

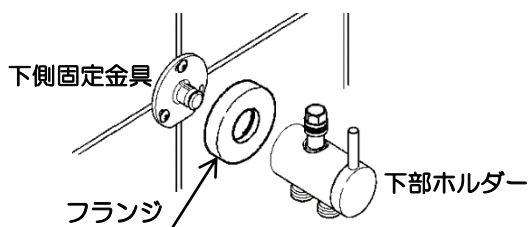
※同梱の取付けビスは木ねじ4.5×75です。
壁の仕様にあうビスを適宜ご用意ください



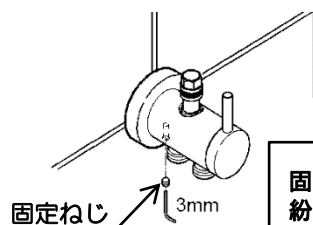
最大4本のビスで
取付け可能です

4. 下部ホルダーの取付け

1. 下部ホルダーにフランジを取付け、下部固定金具に
ゆっくり差し込みます。



2. 下部ホルダーの固定ビスを3mm六角レンチで右回し
にねじ込んで固定してください

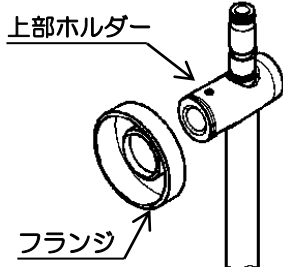


注意

固定ビスは小さい部品ですので
紛失に気をつけてください。

5. 上部フランジの準備

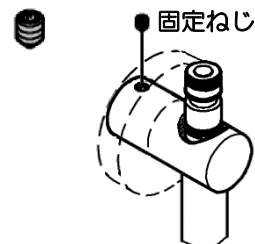
1. 上部ホルダーにフランジ
(くりぬき面を壁側)を
差し込みます。



ポイント

フランジが差し込みにくい
場合は、ホルダーのオリン
グにグリスを塗ってください。

2. 固定ビスをホルダーに仮止めします。
(3mm六角レンチを
ご使用ください)



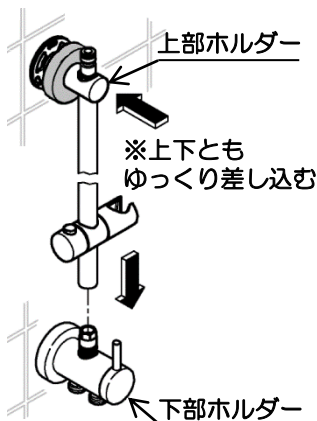
注意

固定ビスの紛失に
お気をつけください

据付け手順

6. スライドバーの取付けとフランジの固定

1. 下部ホルダーにウォールバーを差し込み、上部金具に上部ホルダーをゆっくり差し込みます。



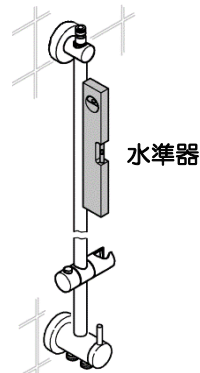
注意

スライドバーが差し込みにくい場合は、下部ホルダーの固定ビスをゆるめ、上下のホルダーを同時にゆっくり差し込んでください。
また、金具の固定位置を確認してください。

2. 上部ホルダーの固定ビスを3mm六角レンチで右回しにねじ込んでしっかりと固定します。



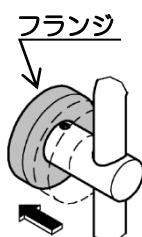
3. 水準器を使用してスライドバーが垂直に取付けられていることを確認します。



注意

差し込んだスライドバーが垂直でない場合は、金具の取付けビスをゆるめ、固定位置を調整してください。

4. フランジを壁面にあたるまで手でしっかりと押し込んでください。



注意

※フランジのグラつきや壁(床)内部へ水の浸入の恐れがある場合は、コーキング等シーリング材を使用してください。
※フランジの若干のガタつきは構造上発生します。固定したい場合はフランジのふちにコーキング等を使用してください。

7. ホースの接続

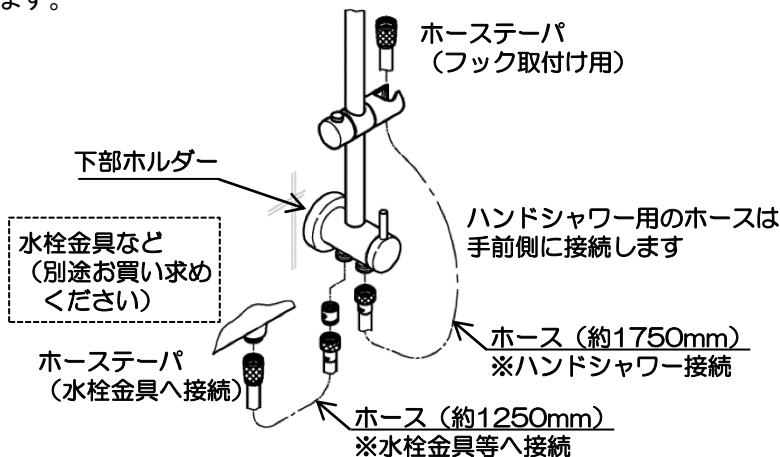
1. 図のとおり、下部ホルダーにホースを接続します。

注意

- ・ホースにパッキンが付属しているか確認してください。
- ・工具を使用する時は袋ナットが傷つかないように注意してください。
- ・強くねじ込み過ぎると、パッキンの割れ等が発生する場合があります。

ポイント

下部ホルダーへのホース接続の際は、接続部に袋ナットを手もしくは工具(プライヤー)等で右回しにねじ込んでください。



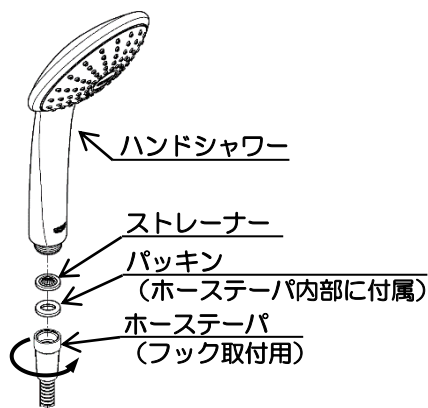
8. ハンドシャワーの取付け

1. ハンドシャワー接続部に付属のストレーナをはめ込み、ホーステーパ(フック取付け用)袋ナットを手もしくは工具(プライヤー)等で右回しにねじ込んでください

注意

- ・工具を使用する時は袋ナットが傷つかないように注意してください。
- ・ホーステーパ内部にパッキンが付属しているか確認してください。
- ・強くねじ込み過ぎると、パッキンの割れやシャワーヘッドの破損等が発生する場合があります。
- ・別売りのハンドシャワーをご使用の場合は機種等により接続方法が異なります。別途説明書をご覧ください。

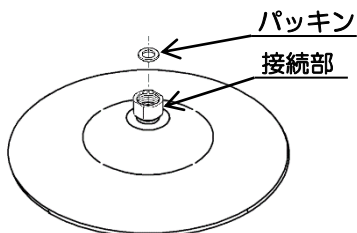
※接続ねじ径はG1/2です。



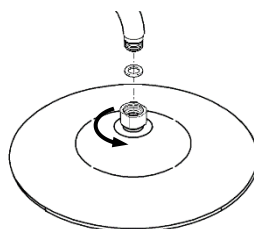
据付け手順

9. ヘッドシャワーの取付け

1. ヘッドシャワーの接続部に
ファイバーパッキンをはめ込みます。



2. アームを固定し、工具(24mmスパナ)を使用して
ヘッドシャワーを右回しにねじ込んで締め上げます。



注意

- ・締め付けは200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水、落下等の原因になります。
- ・商品の落下、足場の確保等、ケガのないよう作業を行ってください。
- ・接続ねじ径はG1/2です。

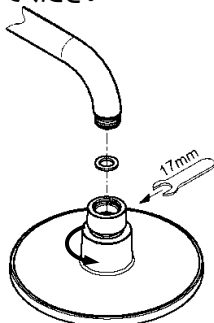
別売りのヘッドシャワーをご使用の場合は機種等により接続方法が異なります。別途説明書をご覧ください。

【固定ビスが無い機種をご使用の場合】

アームを固定し、ヘッドシャワーを工具(17mmスパナ)で右回しにねじ込んで締め付けてください

注意

- ・締め付けは200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水、落下等の原因になります。
- ・商品の落下、足場の確保等、ケガのないよう作業を行ってください。
- ・接続ねじ径はG1/2です。

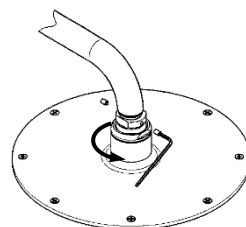


【固定ビス付き機種をご使用の場合】

固定ビスを2mm六角レンチで右回しにねじ込み固定します。

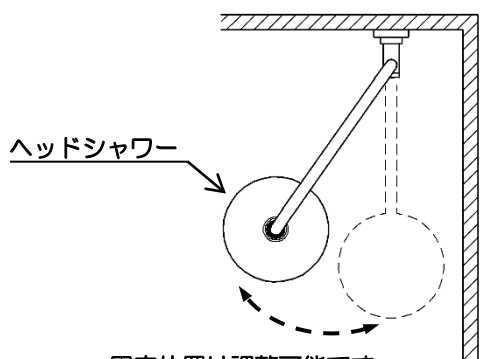
注意

- 締め付けは、20~30kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水、落下等の原因になります。



10. アームの位置調整

アームの固定位置は任意に選択が可能です。
壁、水栓金具などの位置関係によって、快適な空間ができるようアームの固定位置を調整してください。



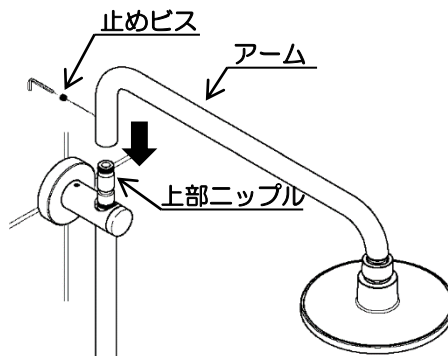
固定位置は調整可能です
スペースを考慮してアームの
位置をずらしてください

注意

位置調整後は落下防止のため、固定ビスを
仮止めしてください。

11. アームの固定

上部ニップルにアームを差し込み、
「10. アームの位置調整」で仮止めした位置で止めビスを
2. 5mm六角レンチで右回しにねじ込んで固定してください。



ポイント

アームが差し込みにくい場合は、ニップルのリングに
グリスを塗ってください。

注意

アームの止めビス固定後は、アームを動かさないよう
にしてください。
※固定後に動かすと破損するおそれがあります。

取付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

1. 接続部の水漏れ

吐水・止水を数回くりかえした後、以下の箇所を点検します。

- ①水栓金具などとホースの接続部
- ②ホースと本器具の接続部
- ③本器具とホースの接続部
- ④ホースとハンドシャワーの接続部
- ⑤バーとアームの接続部
- ⑥アームとレインシャワーの接続部※

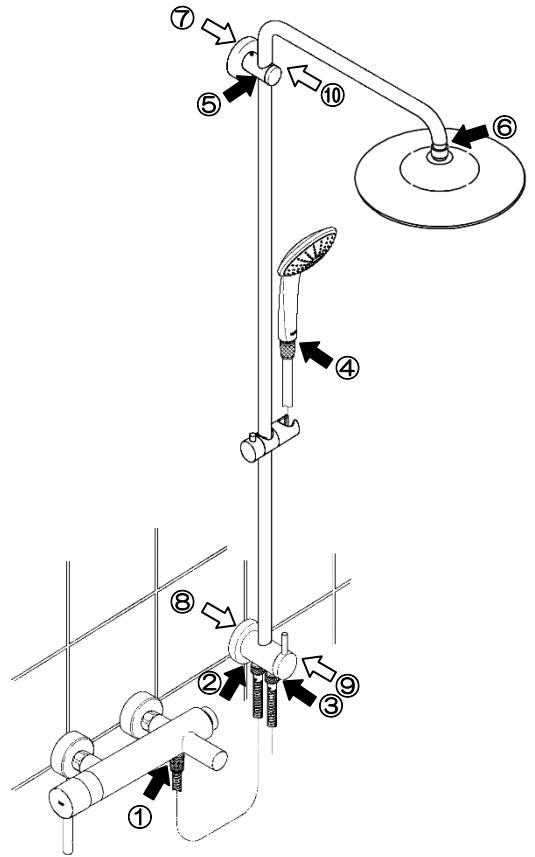
注意

特に、⑥は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。

2. 固定部のゆるみ

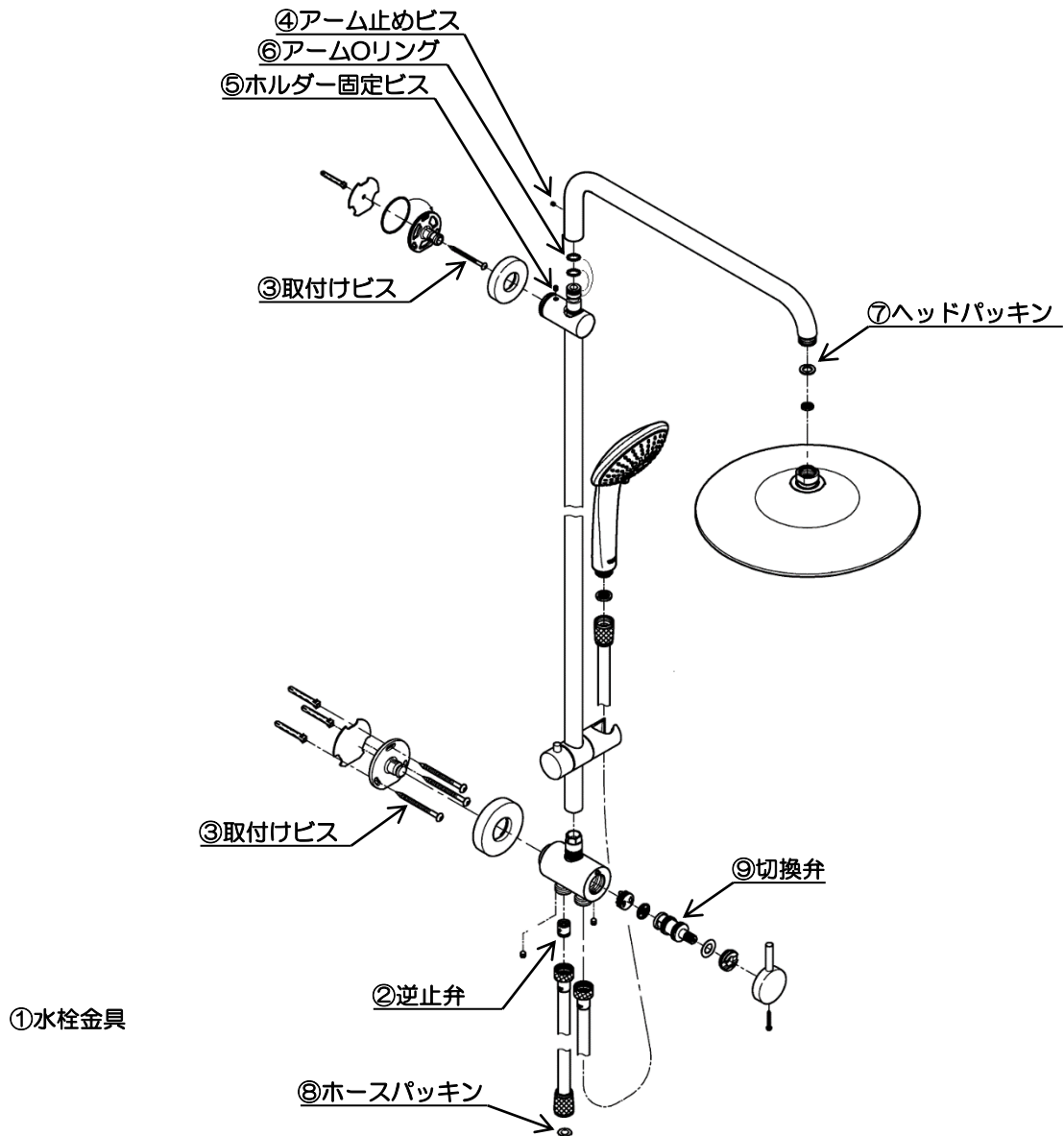
以下の箇所を点検します。

- ⑦壁と金具の固定部
- ⑧金具とホルダーの固定部
- ⑨ホルダーとバーの固定部
- ⑩バーとアームの固定部



故障と点検

製品設置後に不具合が生じた際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	点検内容
吐水量が少ない	①	全開されていますか？圧力は十分ですか？
	②	破損・ゴミかみはありませんか？
バーがガタつく	③	・正しく取付けられていますか？ ・壁の補強は十分ですか？
アームがガタつく	④	締付けは十分ですか？
ホルダーがガタつく	⑤	締付けは十分ですか？
バーからの漏水	⑥	破損・ゴミかみはありませんか？
ヘッドシャワーからの漏水	⑦	正しく取付けられていますか？
ホースからの漏水	⑧	・破損・ゴミかみはありませんか？ ・正しく取付けられていますか？
シャワーに切替わらない	⑨	破損・ゴミかみはありませんか？
散水が頭に当たらない	④	・締付けは十分ですか？ ・アームの位置調整は出来ていますか？

グロージャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>